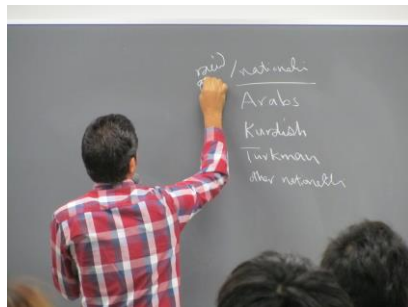


一般公開授業

「小さな民から見た平和～イラクの現状と日本～」

名古屋学院大学外国語学部では、5月23日（月）15時05分～16時45分、イラク人医師の2人（アンマール氏、ヤセル氏）を招聘し、名古屋キャンパス白鳥学舎曙館6階604教室にて公開授業を開催致します。一般の方も入場無料でご参加いただけます。



【講師紹介、授業内容】

両医師はセイブ・イラクチルドレン・名古屋の支援を受け、中東イラクから来日し、愛知県内の医療機関で研修を受けています。お二人から、イラクの現状や平和への展望、日本との関係についてお話を伺います。とりわけイラクの民衆、つまり権力を持たない「小さな民」としてどのような問題が起き、どのような展望がのぞめるのかについてお話いただきます。米英軍による侵攻・戦争、米英軍撤退を経て、現在、イラクではファード・マアスーム政権のもと情勢が緊迫しています。原油の輸出、イラク戦争時における米軍への「後方支援」、戦後の「復興支援」などを含め日本とも関わりが深い国です。お二人の医師の話をお聞き、日本との関わりや日本による「協力」、平和の意味などについて考えます。

【一般公開授業について】

○開催日時：2016年5月23日（月）15:05～16:45(14:55開場)

○開催場所：名古屋学院大学白鳥学舎 曙館 604 教室 **【入場無料】**

※地下鉄名港線「日比野駅」、名城線「西高蔵駅」徒歩約8分 **駐車場はありません**

○講師：アンマール氏(イラク人医師)、ヤセル氏(イラク人医師)

通訳：安江 壘(イルティバート代表)

○テーマ：小さな民から見た平和～イラクの現状と日本～

○定員：先着30名程度、事前申込不要

○主催：名古屋学院大学 外国語学部

【内容に関する問合せ】

学生支援課 TEL：052-678-4079 e-mail：[shien@ngu.ac.jp](mailto:shien@ngu.ac.jp)